

深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト

実行委員会 委員長あいさつ

令和4（2022）年10月、伏見区深草地域は、旧深草町の町制施行100周年の節目を迎えます。そこで、私たち実行委員会は、旧深草町町制施行100周年記念として、文化庁の補助金を助けに、「深草地域の文化『保存・継承・創造』プロジェクト」を実施しました。そして、「将来に遺したい深草地域の暮らしと文化」を募集テーマにしまして、写真や古絵図、絵はがき、動画等の募集を行いましたところ、貴重な写真等の資料を多数応募していただきました。ご応募いただいた方、アーカイブ化する資料の収集にご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

ご応募いただいた貴重な写真等資料をデジタルアーカイブ化して、将来に遺す礎を築くことができました。たくさんの貴重な資料を拝見しまして、深草地域の歴史や文化は深草にお住まいの一人おひとりの人生・暮らしが積み重なって作られているのだと実感いたしました。

「未来へ紡ぐ深草の記憶」をデジタルアーカイブ化しましたことで、住民の皆様はもちろんですが、「深草の記憶」を広く共有することができるようになりました。私たちが「深草の記憶」を共有し、深草のこれまでを振り返り、深草の次の100年をともに考え、未来を創造することができる。そのようなデジタルアーカイブとして親しまれることを大いに期待しております。



委員長 只友 景士
龍谷大学政策学部教授

プロジェクト概要

旧深草町制100周年を機に過去の記憶を振り返り、「深草地域が大切にしていたもの、未来に伝えたいもの」を地域ぐるみで考え、次世代を担う子ども達に引き継いでいくため、令和3（2021）年3月、地域の歴史団体、龍谷大学、深草支所で構成する「深草地域の文化『保存・継承・創造』プロジェクト実行委員会」を設立し、プロジェクトをスタートしました。

プロジェクトでは、意識して語り継がなければ失われてゆく地域の歴史文化が記録された貴重な過去の写真を集め、デジタルアーカイブ化し、地域の共有財産として次世代へ引き継いでいく取り組みを進めてきました。

令和4（2022）年3月、地域の皆様の多大なご協力の下、デジタル化した古写真等を広く公開する「未来へ紡ぐ深草の記憶」WEBサイトが完成。集まった資料をもとに、皆様と深草地域の魅力や奥深さを発見・共有するとともに、文化の力を活用したまちづくりを推進することを目指します。



収集結果

令和3（2021）年6月～9月に、「将来に遺したい深草地域の暮らしと文化」をテーマに広く古写真等を公募し、地域の皆様からお寄せいただいた約1400点の応募写真等の中から、地域外のものや内容が重複するものを除いて約700点を選定、デジタル化しました。また、プロジェクトの一環で、古写真を使ったまち歩きやシンポジウム等も開催しました。

深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト実行委員会 委員の紹介



委員長
只友 景士
龍谷大学政策学部教授



副委員長
鵜飼 実幸
鴨川運河会議 代表



委員
井上 雅晶
深草郷神興保存会
会長



委員
北野 信義
深草を語る会



委員
杉田 鈴子
深草古絵図プロジェクト
代表



委員
竹場 真司
伏見チンチン電車の会
代表



アドバイザー
若林 正博
伏見城研究会
認証アーキビスト